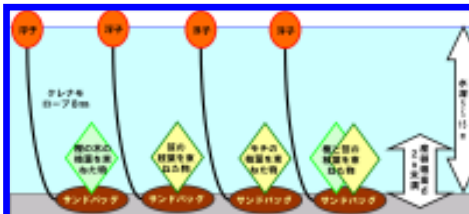


# 長井町漁協アオリイカ増殖部会 アオリイカ産卵礁設置試験

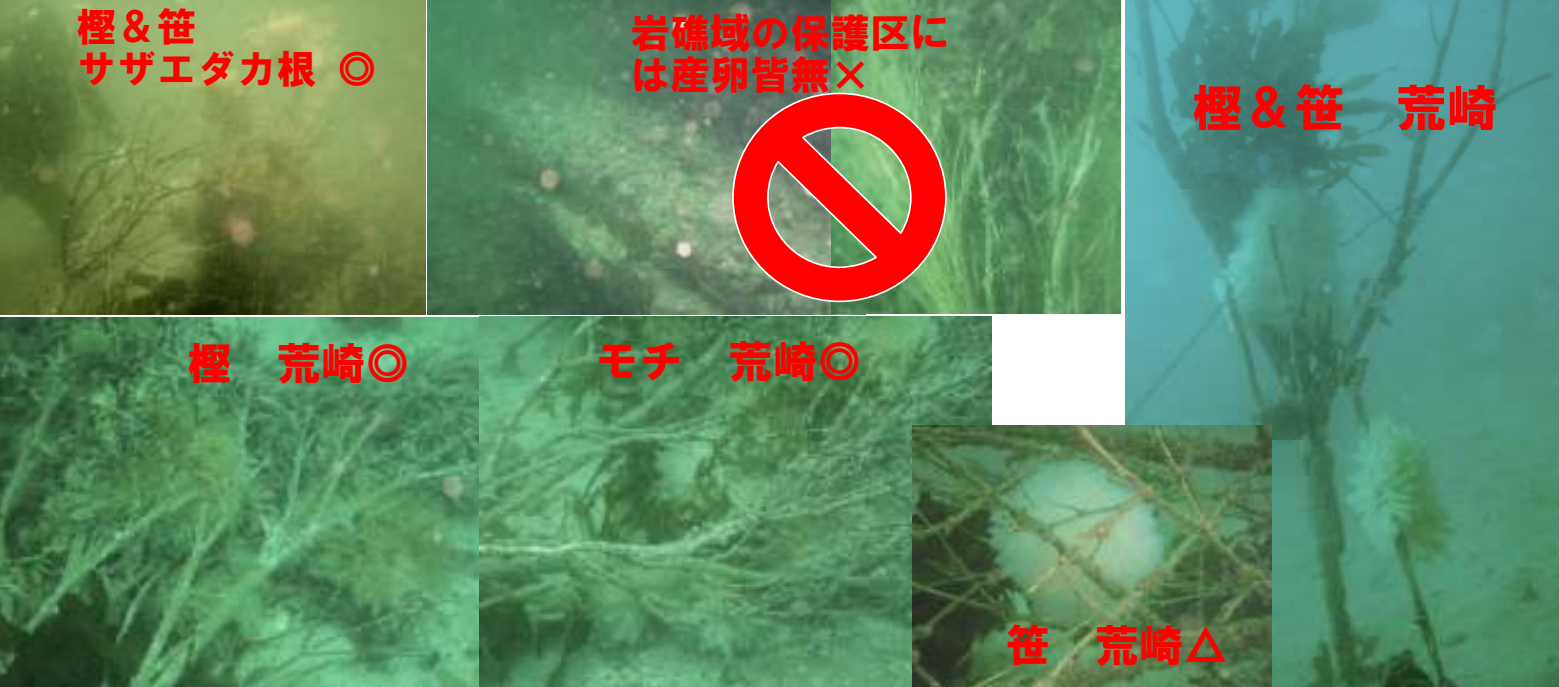
●長井町漁協アオリイカ増殖部会 平成22年4月設立 110名  
 (社)豊かな海づくり推進協会の漁協等実践活動助成事業を活用して、樫、笹、モチ、樫&笹を使った4タイプの産卵礁を5箇所の海域に設置し、アオリイカの産卵に適した産卵礁の資材と設置適地を解明すると共に長井地先のアオリイカの増殖を図った。



## 産卵礁作成 枝&葉振りの良い木を選び切出し～沈子の土嚢に土砂を詰～設



## 資材 & 海域別産卵状況



●アオリイカ産卵礁設置海域別・タイプ別の産卵状況総括表

設置海域と産卵礁のタイプ	7月6日の産卵状況	7月28日の産卵状況	9月13日の産卵状況	ポイント	所見	水深	海域特性
	21.9℃/1m	25.47℃/1m	26.48℃/1m				
サザエダカ根	21.48℃/5m	25.35℃/5m	26.28℃/5m				
① 樫					アオリイカの産卵無。	8-10m	砂地の中の岩礁
② 笹							砂地の平間
③ モチノキ							
④ 樫&笹	〇〇〇〇〇			5	樫&笹の産卵に産卵		
保護区							
① 樫					アオリイカの産卵は全くなかった。岩礁域はアオリイカ産卵礁の設置に適さないことが判明。	11m	岩礁域のクレパス
② 笹							
③ モチノキ							
④ 樫&笹							
荒崎							
① 樫	〇〇〇〇〇	〇〇	〇	8	樫・モチ・笹(産卵)に全くアオリイカ産卵を確認できなかった。岩礁域はアオリイカ産卵礁の設置に適さないことが判明。	10-12m	潮に張り出した荒崎域の影の砂地の平間で、潮にのりかけて若干深くなる。
② 笹		〇	〇〇	3			
③ モチノキ	〇〇〇〇〇			5	3回目の調査で、立っていった樫&笹への産卵は増加した。		
④ 樫&笹	〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇〇	12			
葉の状態	樫は葉が枯れても残っていたが、モチと笹の葉は昔葉で枝のみ。笹の枝は細かいので影になり難い。	樫は葉が枯れても残っていたが、モチと笹の葉は昔葉で枝のみ。笹の枝は細かいので影になり難い。	樫も葉が落ち、モチと笹と同じ影になり難い。		●産卵状況の凡例		
付着物	樫・モチにはフジボ等の付着物が多く、笹にはなかった。	樫・モチにはフジボ等の付着物が多く、笹にも若干付着物が見られた。	樫・モチ・笹にフジボ等の付着物が多く見られた。		評価	産卵状況	
					空欄	卵塊なし 0pt	
					〇	卵塊1個有 1pt	
					〇〇	卵塊2個有 2pt	
					〇〇〇〇〇	卵塊多数有 5pt	

★物陰がポイント！  
 アオリイカは産卵の際に、磯等の物(島)陰になった海域を好み、産卵する資材も、葉持ちが良く枝が入組んだ、物陰ができやすい資材が好適！  
 ●設置に適した海域  
 ◎荒崎(10-12m)・×保護区(11m)  
 海に張り出した磯の影に位置する10m前後の砂地ベースの平間が好適。天然の岩礁域や岩場は適さない！  
 ●産卵礁に適した資材  
 海中でも比較的葉が落ち難い樫の木が好適！  
 ●産卵礁の構造  
 中層浮き等を付けて海底で立たすことがポイント！

